

11月2日(土)に学力向上進学重点校・エントリー校 18校の生徒たちによる「PDA 神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会」が横浜平沼高校で行われました。普段の授業や毎週火曜日の放課後に有志で行っている講習会への取り組みが実を結びました。

PDA (パラメンタリーディベート) とは、一つの論題に対し、肯定 (Government) と否定 (Opposition) チームに分かれ、各々のチームが第三者 (ジャッジ) を説得させるパブリックスピーチ型のディベートです。肯定側か否定側かは主催者が決めるのでディベーターは選ぶことができません。議論の内容や説明の仕方など、より説得力があったチームが勝ちとなります。

大会当日は、3ラウンドが行われ、それぞれの論題は次のとおりでした。

①ラウンド 1 vs 横浜翠嵐高校

Kanagawa Prefectural High Schools should abolish their school uniforms.

(神奈川県立高等学校は、制服を廃止すべきだ。)

②ラウンド 2 vs 光陵高校

The voting age should be lowered to 16.

(選挙権年齢を16歳に引き下げべきだ。)

③ラウンド 3 vs 厚木高校

University admissions based on exam scores should be reduced, while those through designated school recommendations should increase.

(大学入試の点数による合格者を減らし、指定校推薦による入学者を増やすべきだ。)

横浜緑ヶ丘高校は2年ぶりの参加でしたが、3戦全勝で全体の第2位となりました。

(第1位: 相模原高校、第3位: 湘南高校、第4位: 茅ヶ崎北陵高校、第5位: 平塚江南高校)

個人賞では、ベストディベーター賞とエキシビジョンディベーター賞を見事受賞しました。

